

「笑顔・自信・絆」のある学校
校訓 自主・心・健康



風見鶏



生徒数
1年生 103名
2年生 102名
3年生 95名
計 300名

瑞穂中だより
「10月号」
令和3年10月 1日発行

「自問・自答する 瑞穂中！」

校長 豊田 康人

10月は、神無月。緊急事態宣言が解除され、現在は各事業所等の段階的な移行期間となった。今後も感染拡大防止対策は続く。

先月は、大きな行事として新人戦の中止。10月の修学旅行、12月の職場体験学習も中止として判断した。一人一人の安心・安全のための苦渋の決断だった。現状を受け止め「チーム瑞穂」は、前を向いて進んでいる。そんな姿が、いじらしく強さを感じる。

先日、私は、通勤途中の交差点の赤信号で車を一時停車した。車の横を自転車で走行してきた中学生も同じように信号待ちとなった。見通しも良く、横方向の車の通行もなくのんびりした時間だった。信号が青になり中学生の走行を見とどけて私も発進した。何気ない交通ルールを守る中学生と共有した心地よい時間となった。



一方、10月1日から「埼玉県エスカレーターでの安全な利用の促進に関する条例」が施行された。令和3年3月26日に県議会で成立し、試行期間を経て、安全な利用を確保することを目的とされている。今まで関東地方は、左側に寄って(関西は右側)利用していたのではないだろうか。現在は、感染対策からエスカレーターのベルトに触れたくない人もいる。また、体調から右側(左側)ベルトに捕まって安全に利用したり、小さい子と並んで利用したりすることもあるだろう。エスカレーターを利用している時間、「じっくり待つ」ことが必要だと思う。

社会には、新しいものも含め、沢山のルールがある。「急いでいるから勘弁して」とか「誰にも見られてないから」などという自分の都合で判断するのは、厳禁である。



「人を相手にせず、天を相手にせよ。天を相手にして己を尽くし、人とがめず、我が誠の足らざるを尋べし」これは幕末から明治にかけて活躍した偉人の中で、特に「徳」の人であったと言われている西郷隆盛の言葉です。「人が評価してくれるから、くれないからで自らの行動を判断するのではなく、もっと大きなもの(天)を基準にして、自らの行動を高めていく。自らを常に省みて、自らの足りないところを自問する。」素晴らしい姿勢であり、力強い生き方を感じる。

先の中学生のルールを守る行為は、誰かの評価を気にしているものではないだろう。社会の一員として定着している立派な姿勢の表れだと思う。現在の社会の中で**自問自答**し、正しい道を進みたい。

【保護者、地域の皆様】感染拡大防止の生活は続きます。教職員一同は、前に進むために考え、工夫し、これからも「チーム瑞穂」に寄り添って参ります。御理解、御協力をお願いいたします。今月も「夢へ」躍進する 瑞穂中 で前進いたします。

10月の予定



月	火	水	木	金	土	日
				1	2 英検一次	3
				清掃なし		
4	5	6	7	8	9	10
諸活動停止 (10/4~6)		清掃あり	中間テスト 清掃なし 専門委員会			
11	12	13	14	15	16	17
生徒会選挙運動開始 1年食育授業	3年教材販売	3年教材販売 学校評議員会	食育指導2-1.2	食育指導2-3		
18	19	20	21	22	23	24
応援演説①	市内駅伝(予備ナシ) 応援演説②	生徒会選挙運動最終 応援演説③ 清掃あり	生徒会本部役員選挙 清掃なし	生徒会選挙結果開示		
25	26	27	28	29	30	31
				埼玉葛中体連発表会		

タブレットを活用した生活に向けて



本校では、タブレットを活用した学校生活に向けた取り組みを順次実施しています。1学期の終業式では、校内生配信を行い、全生徒が一堂に集まらない中でもリアルタイムで挙行できるようにしました。1, 2年生はここで初めて校長先生の顔をみることができました。

9月1日の始業式では体育館から生放送をし、1, 2年生は教室から生配信で挙行了しました。

また、生徒と共にタブレット等の電子機器を活用した効果的な学習活動に力を入れるため、講師を招いた教員の校内研修も実施しています。教員がタブレットをもって校内を巡回する姿も今や日常になりました。

現在は、生徒は登校後にタブレットを用いて、朝の健康観察を記録しています。また、家庭から学校と繋ぐリモート配信を実施することで、より効果的な活用方法を習得するようにしました。

瑞穂中では、どのような社会でも対応でき、自らの考えを表現できる生徒の育成に努めます。ご協力、宜しくお願いします。

令和3年度 学校研修課題

『たくましく生きる生徒の育成』
～生きて働く知識の形成と協働的な活動を通して～

神中の笑顔・自信・絆

第2学期始業式 9/1

臨時休校を経て、2学期が始まりました。

生徒たちは笑顔いっぱいに登校し2学期への意欲が見られました。始業式は、3年生は体育館で、1・2年生は各教室にて、リモートで行いました。

代表生徒の発表を、しっかりと聞く姿が立派です。



教育実習 9/2~9/21

本校卒業生の3名が「教師」を目指すための教育実習です。3週間実際に教壇に立ち、授業を行いました。この経験を活かし、ぜひ「教師」になることを期待しています。



1年生校長面談 9/6~

1年生が校長と面談を行いました。短い時間ですが、1年生は緊張の中、自分のことを語っていました。



教員研修 9/15(水)27(月)

全国的に広がっている「GIGA スクール構想」にのっとり、先生方はタブレットPCを活用した授業づくりの研修を行っています。特に、リモート学習について重点的に研修を深めました。

今月の紹介者 《教育実習生 吉田 優葉 先生》

『チーズはどこへ消えた?』 スペンサー・ジョンソン 著
コロナ禍にて思い通りにならない日々。自分の人生について考える時間が増えた人も多いと思います。この本では、2匹のネズミと2人の小人が迷路の中に住み、チーズを探します。一見シンプルなお話ですが変化に対応し、自分にとっての成功をおさめるために多くの教訓を得ることができる本です。ベストセラーにもなっています。

今月の紹介者 《教育実習生 柳瀬 詩歩 先生》

『神様』 川上 弘美 著
この本の中に入っている「話さない」というお話がとてもおすすめです。2人の人間と人魚のちょっと怖い不思議な物語です。美しい人形にどんどん狂わされていく2人がどうなるのか気になる方は是非読んでみてください。

日本一 読書のまち三郷

教育実習生から本の紹介をしてもらいました。

3年生面接指導 9/15

来る進路決定に向け、自分自身のことを堂々と語れるように、面接の指導を行いました。生徒たちは、3学年職員が作成したDVDを見ながら、真剣に取り組んでいました。



リモート帰りの会 9/24(金)

先生方が研修を深めたことで、クラウド型会議サービス「zoom」を利用して、担任と生徒を結び、リモートによる「帰りの会」を行いました。それぞれのご家庭でくつろいだ顔が見られました。



今月の紹介者 《教育実習生 島根 彩良 先生》

『モモ』 ミヒヤエル・エンデ 著
人々から時間を奪う「時間どろぼう」とその盗まれた時間を取り返そうとする少女モモの物語です。
時間とは、何か改めて考えさせられる作品です。
私も中学生の時に初めて読み、今でも好きな作品のひとつです。

本校の教育活動は、ホームページでも御覧いただけます。
右のQRコードより、ホームページを見ることができます。

